

令和3年度 第2回神栖市生涯学習推進会議 会議録

日 時 令和4年3月18日（金）

午後3時～4時

場 所 中央公民館 小ホール

■出席者

渡邊委員，野口委員，白鳥委員，羽生委員，宮川委員，吉岡委員，小松原委員，五十嵐委員，松本委員，鈴木委員（10名）

小貫教育部長

文化スポーツ課 遠藤課長，加納課長補佐兼社会教育主事，瀬端係長，高安主事（4名）

■欠席者

多辺田委員，藤代委員，高橋委員

■傍聴者（定員10名）

0名

■会議内容

1 開 会

2 案 件

（1）実施状況報告書に対する質問への回答

委員からの生涯学習関連事業実施状況報告書に関する質問に対する各課の回答一覧を配布し，見方の説明を行いました。

（2）第2次生涯学習推進計画について

昨年度策定の第2次生涯学習推進計画の進行管理の方法について，現段階の案を説明しました。

【質疑応答】

委 員

アンケートを令和4年度に実施するということですが，いつ頃を予定していますか。また，アンケートの設問案にYouTubeでの学習とありますが，これは市の事業で何かに登録した人だけが見られるようなものを想定しているのでしょうか。

事 務 局

アンケートの実施時期ですが，来年度の夏頃の発送を予定しております。アンケートの設問，YouTubeに関する内容についてですが，市で提供しているサービスのみではなく，普段の生活の中で学習ツールとして使用しているのかどうかという意図で設問を設定しています。例えば花の株分けをしようと思ったときにインターネットで調べたりYouTubeで動画を見たりして，やり方を学ぶというのも生活を豊かにする趣味の学習活動の一つであると考えております。今回のアンケート調査では，市民の皆さまがどの程度インターネットなどを利用して学習をしているのかをはかり，市として今後も市民が望む形で

	学習機会を提供するための設問となっております。コロナ禍であることもあり、市でも徐々にオンラインによる学習機会の提供は増えてきている部分でもあります。何らかの理由により会場に行くことのできない方などが自宅から学習ができるような機会にもなっていくのではないかと考えております。
議 長	現委員の任期は7月末までとなりますので、実際にアンケート調査を行った内容を分析等するのは、次の委員の方というかたちになります。
委 員	私の中では、学習という言葉はどうしても勉強するというイメージがあります。ですが、先ほどの質問への回答で、花の株分けをYouTubeで見て実践するというのも学習に入ると説明がありました。私も趣味の活動をする際には、YouTubeを見て実際に参考にやってみることもあるのですが、それも学習の一つに含まれているということを知りました。実際にアンケートを受け取り、回答をする市民の中にも、自分と同じように、勉強＝学習という意識の方もいると思いますので、生涯学習というものをもう少しみ砕いた、参考や例を含めた資料がついていないかとアンケートに回答しやすいのではないかと思います。自分はこの会議に出席することで少しずつ生涯学習という言葉を身近に感じられるようになっていますが、そうではない市民の方にもわかりやすい資料があるといいと感じました。
議 長	よく生涯学習と生涯教育という言葉は意味が混ざってしまうと聞きます。どこからどこまでがどちらなのかというのは、昔から議題となる部分でもあります。自分の中では、生涯学習は生活であると思っています。なので、料理をする際にYouTubeでつくり方を調べることも生涯学習だと思います。今は小学生の宿題でもYouTubeを使うこともあるようで、生活に染みこんでいることも多くありますが、生涯学習と名前がつくと、急にそれが実際に生涯学習なのかわからなくなるということはあるように感じます。
事 務 局	委員からの質問の内容としては、アンケートを回答するにあたり、人により生涯学習のイメージがあいまいであるために、自分が実際に行っていることが生涯学習なのかということがわからず回答が難しいということかと思っておりますので、回答がしやすく、こちらが設問を設定する上で回答をしてほしい内容が伝わるように工夫をしていきたいと思っております。
委 員	神栖市民は約9万5千人いるかと思っておりますが、3000人を対象にアンケートを実施する根拠は何かありますか。
議 長	前回のアンケート調査もそうですが、今までは公共施設へアンケート用紙と回収ボックスを設置して回収していましたが、今回は、無作為抽出・郵送で実施する理由などもあればお願いします。
事 務 局	3000人に実施するという明確な根拠はありませんが、市の傾向をみるためには、ある程度の人数の回答が必要ということやこれまで各課で実施しているアンケートなどをみて、3000人という人数に決定しました。また、前回までのアンケートは公共施設に用紙と回収ボックスを設置する形で、生涯学習をしている人がいるであろう公共施設に設置をしていました。そうすると生涯学習をしている人からの意見が多くなってしまい、偏りが出てきている可能性があるということでそうではなく、市民全体から無作為抽出をすることで、市全体を把握できるように今回の調査を行いたいと考えております。

委 員

回収率はどのくらいを考えているのですか。また市ではいろいろなアンケート調査を実施していると思いますが、他のものはどのくらいの回収率なんでしょうか。

事 務 局

一般的に配布したアンケートの3～4割の回収ができると傾向がつかめるといわれています。他のアンケート調査の回収率についても、だいたい3～4割程度と把握しております。

3 その他

本日の会議に関する質問や意見は、資料内の質問・意見票で提出いただくことをお願いしました。

4 閉 会

— 午後4時 —